

## 令和2（2020）年度男女共生市民講座開催事業等の実施状況

### ■男女共生市民講座

回	内 容	期日等	参加人数
1	<p>新発田市社会福祉協議会 主催</p> <p>地域とつくる防災フォーラム</p> <p>「災害時における避難所の実態と避難所生活を支え合うために ～新型コロナ感染対策や多様性配慮の視点を踏まえて～」</p> <p>講師 一般社団法人ピースポート災害支援センター</p> <p>現地コーディネーター 辛嶋友香里</p>	<p>11月14日（土）</p> <p>生涯学習センター 講堂</p>	110人
2	<p>“チーム夫婦”のススメ ～夫婦で運動！夫婦で話す～</p> <p>内山 麻理子さん（ボディメイクトレーナー、産後ボディ&amp;マインドケア講師）</p>	<p>3月14日（日）</p> <p>健康長寿アクティ ブ交流センター 大ホール</p>	中止

### ■ワーク・ライフ・バランス推進事業

内 容	期日等	参加人数
<p>新発田市・胎内市・聖籠町定住自立圏男女共同参画推進事業</p> <p>新潟県女性財団地域セミナー i n 聖籠</p> <p>こんな時だからこそ働き方改革！</p> <p>ワーク・ライフバランスは、経営戦略</p> <p>～イクボスで、成果と笑顔がともにアップ～</p> <p>講師 NPO法人コヂカラ・ニッポン代表 川島高之</p>	<p>11月27日（金）</p> <p>オンライン （Zoom）</p>	45人

事業名	第1回 新発田市男女共生市民講座
目的	・災害時における男女共同参画の視点の必要性と具体的な取り組みを学ぶ
日時	令和2年11月14日(土) 13時30分～15時30分
会場	新発田市生涯学習センター
講師	一般社団法人ピースポート災害支援センター 現地コーディネーター 辛嶋 友香里 氏
参加者	110名

講座の内容	
<p><b>【基調講演】</b></p> <p>○PBV（ピースポート災害センター）について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外28ヶ国 ・国内45団体 ・地域に合った支援をさぐる</li> <li>・一人の100歩より100人の一歩を大切に</li> </ul> <p>○30年以内に80%の確率で災害はやってくる</p> <p>○災害の一日前ならあなたはどんな準備をするだろうか？ (ガソリンを満タンに、携帯充電を100%に、お金をの準備など)</p> <p>○携帯が繋がらないときどんな手段で連絡をとる？ (家に張り紙、公衆電話の確認、筆記用具、連絡先メモ)</p> <p>○「171」災害用伝言版の利用を ○これから水害98%の確率でやって来る ※天気予報で80%雨なら誰もがカサをもっていく。98%の水害にそなえよう</p> <p><b>【トークセッション】</b></p> <p>○被災された方の「良好」「快適」をどう捉えるか？ 1日2日のことでなく3ヶ月～10ヶ月 中長期的 避難生活を考える時</p> <p>○生活水準を普通にすることが「快適」・・・これって「変？」</p> <p>○コロナで分散避難・・・是非支える人になって欲しい</p> <p>○避難所で主体は住民</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名簿をとる ・数の把握(食料、物資の数のためにも) ・床から30cm上げよう(衛生の面からも)ダンボールベット ・食事カード(持病・子ども・アレルギー)</li> <li>・情報の共有、発信、説明会、運営会議など</li> </ul> <p>○ちゃんと生きる、日常の生活、自宅でやっていることが当たり前できるように。</p>	

#### アンケート感想・意見等

- ・“一人の100歩より、100人の一歩を大切に！！”
- ・避難所の運営の主体は誰か、行政か避難者か、避難者の役割がわかった
- ・災害は起きてからでは遅いが、災害前に準備するのもいつ起こるか分からないので難しいがこれからは準備しておかなければと思いました

- ・わからないことを色々教えて頂いて良かったです。
- ・避難した場合「お客様」ではいけないのだと痛感しました
- ・被災地での男女共同参画の視点での支援例などをもっとお聞きしたかったです
- ・日頃から多様性の尊重が大切であること

新発田市第1回男女共生市民講座／令和2年度災害ボランティア講座(初級)

# 防災地域とつくるフォーラム

今、この時期だからこそ一緒に考えてみませんか？

近年、全国で多発し、甚大な被害をもたらしている自然災害に加え、平時から防災・減災を講じたつもりが、いざという時に、避難中の建物や避難所における感染症の発生により、避難生活が大きな不安を抱えている。避難生活の継続や避難所における感染症の発生を未然に防ぐため、全国的な防災・減災活動の推進を図り、被災地から学び、今後の新発田における防災活動を共に考え、準備を進めたい。

**とき** 11月14日(土) 13:30開演  
**ところ** 新発田市生涯学習センター講堂  
 【住所】新発田市中央町5丁目8-47

**プログラム**

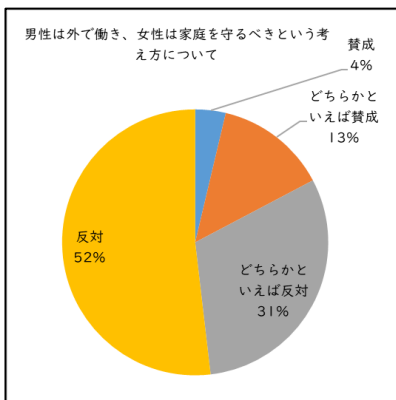
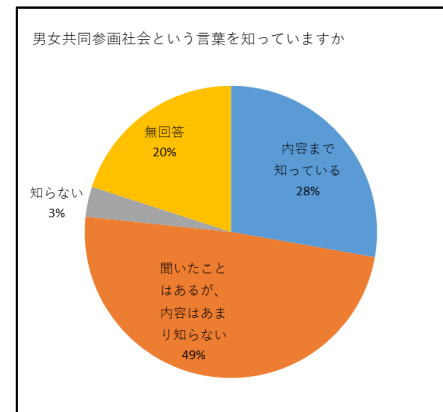
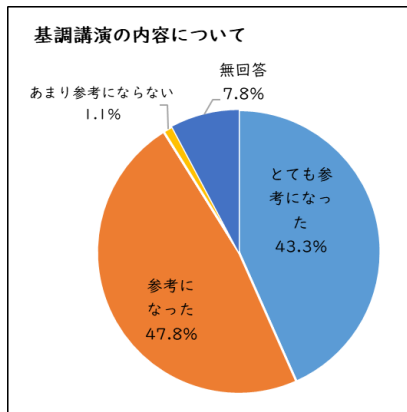
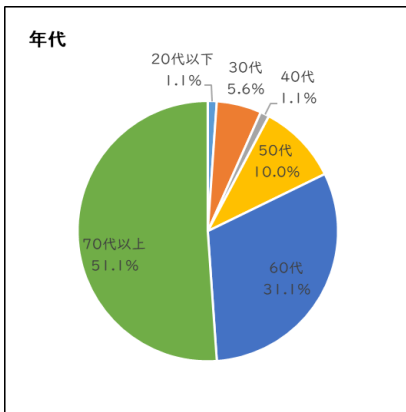
第1部【基調講演】  
 新発田市第1回男女共生市民講座  
 【演題】「災害時における避難所の実態と避難生活を支えるために」  
 【講師】一般社団法人ピーエスエー災害支援センター 地域コーディネーター 辛嶋 友香里 さん

第2部【トークセッション】  
 【演題】「被災地の経験から学ぶ」  
 【コーディネーター】NPO法人いっしょに防災ボランティアネットワーク 理事長 李 仁鉄 さん  
 【ゲストスピーカー】一般社団法人ピーエスエー災害支援センター 地域コーディネーター 辛嶋 友香里 さん

【主催】新発田市 新発田市男女共同参画推進協議会 新発田市社会福祉協議会 (共催) 新発市防災協議会 (協賛) 新発市社会福祉協議会 新発市福祉センター TEL: 0254-23-1000 / FAX: 0254-26-2300



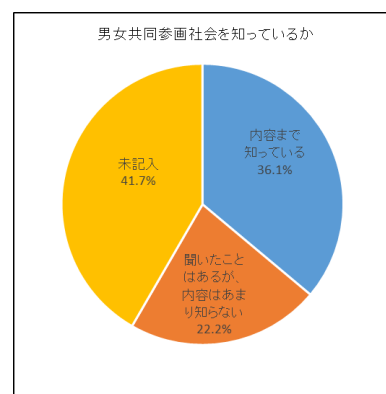
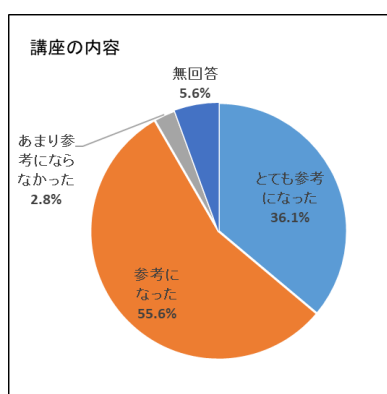
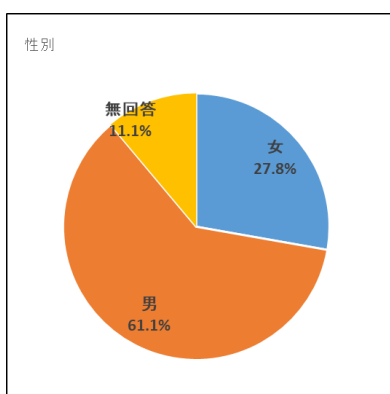
## アンケート結果

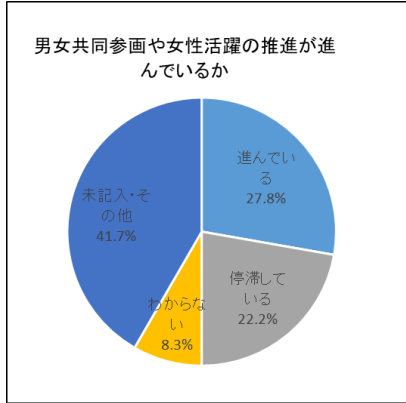
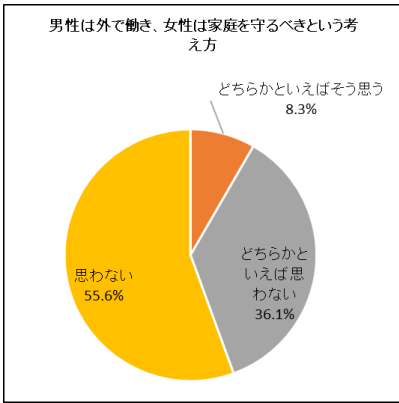


## ワーク・ライフバランスは経営戦略

目 的	女性の活躍推進は、地域活動等に多彩なアイデアをもたらし、企業においては、生産性の向上や優秀な人材の確保が期待されるなど、経営戦略としても重要である。地域における女性の活躍を迅速かつ推進することを目的にセミナーを開催する。 男女が共に働きやすい職場環境をつくることで、「仕事」と「個人や家庭の生活」の両立を目指す。
日 時	令和2年11月27日（金）13:30～15:30
開催方法	オンライン（Zoom）
講 師 内 容	こんな時だからこそ働き方改革！ ワーク・ライフバランスは、経営戦略 ～イクボスで、成果と笑顔がともにアップ～ 講師：川島高之さん（NPO法人コヂカラ・ニッポン代表） イクボスとは、以下を満たしている上司や経営者 ①部下も私生活とキャリアを応援 ②自らも、ワーク・ライフ・バランスを満喫 ③組織の目標（利益等）達成に強い責任感 ・そして、部下や次世代を育てるボス ・人生は一回。だから、3倍楽しもう ・仕事と私生活は、相乗効果の関係 ・ワーク・ライフ・バランスは経営戦略
参加者	45名

### アンケート結果





開催日時：11月27日（金）13時30分～15時30分  
**こんな時だからこそ働き方改革！  
 ワーク・ライフ・バランスは、経営戦略**  
 ～イクボスで、成果と笑顔がともにアップ～

開催方法：オンライン（Zoom）  
 参加費：無料  
 申込締切：11月26日（木）18時00分

講師：高之 隆之（たかの りゅうじ）さん  
 株式会社エヌエフエス代表取締役社長、元日本郵政グループ副社長、元日本郵政グループ副社長、元日本郵政グループ副社長、元日本郵政グループ副社長

申込先：株式会社エヌエフエス 人事部 研修企画課 担当：佐藤 美穂  
 TEL: 03-5561-1111 FAX: 03-5561-1112  
 E-MAIL: hr@enfes.com URL: https://www.enfes.com



【アンケート感想・意見等】

- ・WLBは、与えられるものではなく、自ら取りに行くもの（自責）。が心に残りました。  
 「女性活躍の阻害要因マミートラックについて」女性職員に限らず、子育て世代の職員に対する配慮の仕方について見直す機会をいただいた。
- ・組織のトップが理解してくれないと進まない。推進担当課だけが頑張っても…。全体で取り組まないといけない問題。
- ・「上司の心得」など、うなずくところが大変多く参考になりました。
- ・仕事の一生懸命取り組むのはもちろんですが、ワーク・ライフ・バランスを推進していく上で、課員等とプライベートな話をする 것도大切だと思いました。